

# 小型半履帯式トラクタによる新サトウキビ管理技術

## 小型半履帯式トラクタによる効率的なケーンハーベスタ収穫後の株出し管理技術

### 研究開発の背景

- ・半履帯式トラクタは、接地圧が小さく、けん引力に優れ、踏圧が少ない等の利点があり、水田地帯を中心に普及が進んでいる。
- ・株出し管理を行うほ場では、ハーベスタによる土壌踏圧の影響によって土壌が硬くなることで、株出し栽培の生産性が低下している。また、車輪式小型トラクタでの中耕作業は能率が上がらない。

### 研究成果の内容

#### 小型半履帯式トラクタの導入による心土破碎を組み合わせた管理作業技術



収穫

株揃え

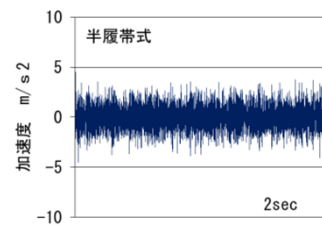
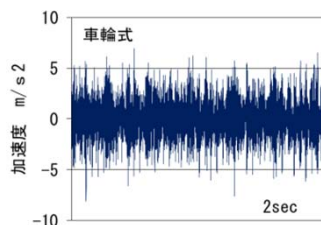
車輪式(慣行体系)

半履帯式(新体系)



心土破碎(サブソイラ)

中耕(ロータリ)



ロータリ耕うん時の振動(横揺れ)の比較

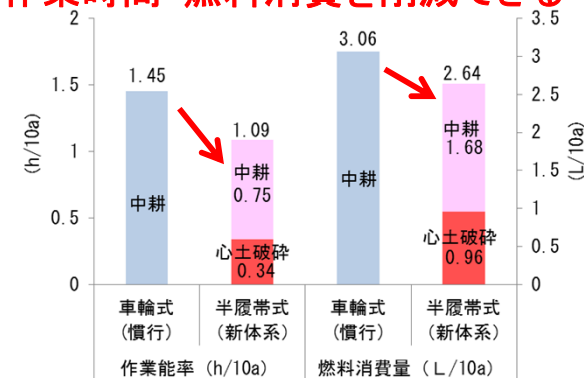
- ・けん引力は車輪式トラクタの**1.3倍**強く、サブソイラによる心土破碎耕ができる。
- ・ロータリ耕うん時の**振動が少ない**。
- ・心土破碎するため**ロータリ耕の作業速度が向上**(車輪式トラクタの約**2倍**)。
- ・畝幅は130cm以上にする。

### 期待される効果

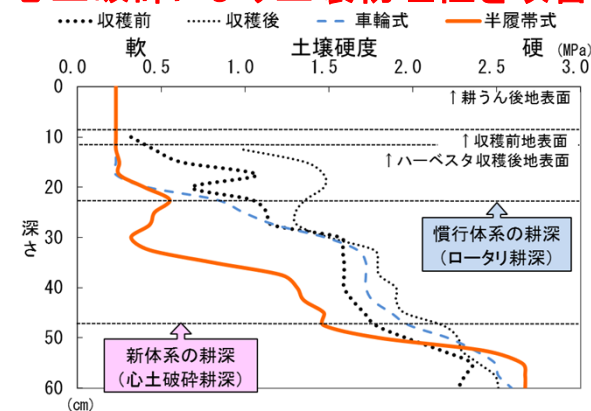
- ・小型半履帯トラクタにより効率的に株出し管理作業が可能になり、株出し栽培の生産安定に寄与。

開発機関：鹿児島県農業開発総合センター、予算区分【全国農業システム化研究会委託事業】

### 作業時間・燃料消費を削減できる



### 心土破碎により土壌物理性を改善



導入メリット

導入をオススメする対象  
サトウキビ栽培農家